

第19回長野県障がい者スポーツ大会の留意事項

1 遵守事項

- (1) 受付、集合、招集等の時間は厳守してください。遅れた場合には不参加・棄権として取り扱います。
- (2) 選手の変更及び出場種目の変更は一切認めません。
- (3) 受付の際にゴミ入れ用ビニール袋を配布しますので、ゴミ等はすべて持ち帰ってください。後片付けは参加者全員で行いましょう。
- (4) 会場内での飲酒は厳禁です。
- (5) 松本平広域公園内の建物（陸上競技場のスタンド含む。）の中はすべて禁煙です。指定の場所（建物・競技場の外で灰皿のある場所）以外では喫煙しないでください。
- (6) 競技場周辺の駐車スペースが十分ではないので、相乗り等により来場してください。
- (7) 松本平広域公園内では、係員の指示に従い、所定の駐車場へ駐車してください。
陸上競技場正面の第一駐車場が満車となった場合は周囲の駐車場へ案内する場合があります。（添付の信州スカイパーク公園マップ参照）
前回大会では許可制としていた陸上競技場玄関前ロータリー内及び陸上競技場敷地内への車両進入について、今大会では進入可能とします（引き続き大型車両は進入禁止です）。ただし、ロータリー内及び陸上競技場敷地内は駐車禁止とし、乗降等の用が済み次第速やかに所定の駐車場へ駐車願います。
ロータリー付近は大変混雑が予想されますので可能な限り駐車場で乗降車してください。御理解御協力の程よろしく願いいたします。
- (8) 補装具の修理は、各自で対応してください。
- (9) 選手、付添者等（以下「参加者」）等の昼食は、各自で用意するとともに、出場する競技の合間をみて適宜昼食をとるようにしてください。（競技役員等で、昼食を用意する方にはあらかじめ連絡します。）
- (10) 視覚障がい者等のために陸上競技場でFM放送（88.6メガヘルツ）による実況放送を行いますので、関係者にFM放送が受信できるラジオを持参するよう周知してください。（ラジオの貸出等はいりません。）

2 健康及び安全の管理

- (1) 大会当日、選手は選手団の引率者又は責任者へ健康チェックシート（別紙様式）を提出してください。
- (2) 健康状態を十分に把握し、自己の責任において競技に参加することとし、熱中症を予防するために必ず飲料を持参して、こまめな水分・塩分の補給を心がけてください。
また、うがいや手洗いをを行う等、感染症予防にも注意してください。
- (3) 大会中の事故については、主催者で応急処置は行いますが、それ以外の責任は一切負いません。
なお、主催者において選手全員を対象としたスポーツ傷害保険に加入しますが、内科疾患による入院などは、この保険の適用となりません。

3 受付

- (1) 受付は、選手団の責任者が一括して行ってください。
- (2) 次に掲げる方については、全体の受付を済ませた後、隣接の所定の場所で再度受付を行ってください。
ア 第19回全国障害者スポーツ大会出場選手
イ 障がい者スポーツ表彰受賞者
ウ 選手宣誓者及び炬火ランナー
- (3) 受付は8時20分から8時45分までに済ませてください。

4 陸上競技場の観覧者の座席について

メインスタンドには各チームごとの場所の目安を表示しますが、バックスタンド（芝生席）については特に定めませんので、互いに譲り合って使用してください。

5 開会式

- (1) 開会式には全員が参加してください。
- (2) 集合時刻 (9:05) までに陸上競技場内のプラカードの後ろへ整列してください。
- (3) 開会式は、陸上競技場内のフィールドの芝の上に全員座って行います。なお、天候の変化に備え、**各自雨具や帽子等を持参**してください。
- (4) 水泳、ボウリング (バス等で会場まで移動する競技) の参加者は、速やかに乗車で
きるよう荷物を用意した上で開会式に参加してください。

6 各競技会場への選手の移動

選手の輸送は以下のとおり計画しています。ただし、変更があれば当日連絡しますので、注意してください。輸送バスは陸上競技場正面ロータリー前から出発します。

競技名		出 発		到 着	
		場 所	時 間	場 所	時 間
水泳競技	往路	陸上競技場	1号車 9:50 2号車 10:00	庄内プール	1号車 10:20 2号車 10:30
	復路	庄内プール	1・2号車 14:20	陸上競技場	1・2号車 14:50
ボウリング競技 (第1シフト)	往路	陸上競技場	3号車 9:50 4号車 10:00	ボウリング場	3号車 10:20 4号車 10:30
	復路	ボウリング場	2号車 13:00	陸上競技場	2号車 13:30
ボウリング競技 (第2シフト) ※1	往路	陸上競技場	3号車 11:50	ボウリング場	3号車 12:30
	復路	ボウリング場	3号車 15:00	陸上競技場	3号車 15:30

※1 ボウリングの第2シフト出場選手はあらかじめ昼食を済ませておくことをお勧めします。

7 選手の招集

- (1) 選手は、招集完了時刻までに係員の最終点呼を受けてください。招集場所及び招集完了時刻は次のとおりです。各競技の開始時間はプログラムを参照してください。

競技名		招集場所	招集完了時間
陸上競技	競走	陸上競技場第4ゲート前	スラローム：競技開始の30分前 スラローム以外：競技開始の20分前
	跳躍	陸上競技場第3ゲート前	競技開始の40分前
	投てき	陸上競技場第3ゲート前	競技開始の40分前
水泳競技		屋内プール本部所定の位置	競技開始の10分前
アーチェリー競技		球技場本部所定の位置	競技開始の20分前
卓球競技		体育館卓球本部所定の位置	競技開始の10分前
サウンドテーブルテニス競技		体育館サウンドテーブルテニス本部所定の位置	競技開始の10分前
車いすバスケットボール競技		体育館バスケット本部所定の位置	競技開始の10分前
ツインバスケットボール競技			
知的バスケットボール競技			
フライングディスク競技		補助競技場本部所定の位置	競技開始の20分前
ゲートボール競技		補助競技場本部所定の位置	
ボウリング競技		ボウリング場本部所定の位置	
ソフトバレーボール競技		会場内本部所定の位置	競技開始の10分前

(2) 招集時の注意

- ア 選手は、点呼を受け、競技開始までの間は係員の指示に従ってください。
- イ 招集完了時刻に遅れた方は、原則として棄権したものとみなします。
- ウ 陸上の競走競技で写真判定のためレーンナンバーを示す腰ナンバーカードを使用する場合は、招集時に渡しますので腰の右側に貼り付けてください。

(3) 総合案内所の設置

開会式終了後、受付付近に「総合案内所」を設置（手話通訳を配置）しますので、招集等で不明な点があった場合に活用してください。

8 陸上競技における注意事項

- (1) 本競技会は、2019年度全国障害者スポーツ大会競技規則、2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施します。
- (2) レーン順、試技順はプログラム記載の通りです。フィールド種目で各カテゴリー同時進行種目については、障がい区分番号の昇順で試技を行います。
- (3) スターターの合図はイングリッシュコールとします（「オン・ユア・マークス」、
「セット」）。スタートは1回目から不正スタートをしたすべての競技者が失格となります。
- (4) 走高跳のバーの最初の高さは、状況によって審判長が判断します。以降は2cmずつバーを上げていくものとします。
- (5) 招集所は、「フィールド競技(跳躍・投てき)第3ゲート」と「トラック競技(競争)第4ゲート」の2か所に分けて設置します。
- (6) 表彰場所は、「フィールド競技(跳躍、投てき)」と「トラック競技(競走)」の2か所に分けて設置します。
- (7) 競技者、介助者および伴走者の競技場内への入場は、すべて競技役員の指示に従ってください。
- (8) 視覚障がい者の競走競技で伴走者ありの場合は、必ず紐等を持つこととします。
 - ・紐は非伸縮性で50cm以内のものとする。(競技者と伴走者の間の距離は50cm以内となります)
 - ・スタートからゴールまで紐を離してはならないこととします。
 - ・区分25の50・100・200・800・1500mは伴走者をつけることができます。
- (9) 車いす使用者の投てき競技(ソフトボール・ジャベリックスロー)では、円盤投サークルを使用しても良いこととします。
- (10) すべての視覚障がいの走幅跳の踏切板の長さは1mとします。
- (11) 視覚障がい者の区分24に属するものは、競技エリアで光を通さないアイマスク又はアイシェードを装着しなければならないこととします。
- (12) 知的障がい競技者のために解散所を設けますので、選手団の責任者等は必ず迎えに来てください。
- (13) 介助者による競技中に以下のような助力行為は認められません。助力を受けた競技者は失格とします。
 - ① 伴走を認められていない介助者（伴走者用ビブス着用の伴走者以外）が、競走競技において競技者に伴走または並走すること。
 - ※トラック競技の介助は、スタート時はスタート地点までです。その後は競技場外を通り、終了選手解散場所テント内で待機してください。
 - ※介助者および伴走者用のビブスは、競技終了次第速やかに返却してください。
 - ② 競技場内において、介助者が競技者に投げ方等の技術指導（助言）をすること。
 - ※跳躍・投てき種目の介助は、試技場所までの引率介助とします。競技中の技術指導（助言）はスタンドから行ってください。
 - ③ 競技場内において、介助者がカメラ・ビデオにより撮影すること。
 - ※原則として、報道関係者に限り競技場内での撮影を許可します。

- (14) リレーオーダー用紙を受付時に各チームへ配布します。オーダーはその用紙に記入し、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出してください。
- (15) すべてのトラック競技者(スラロームは除く)は、腰ナンバー標識を右腰部につけてください。腰ナンバー標識は招集所で受け取ってください。ただし、それを受け取っただけでは、招集完了とはならないので注意してください。

9 水泳競技の試合方法について

- (1) スタートでのイングリッシュコールの導入がされます
- (2) 視覚障がいの区分23に属するものは、競技中に光を通さないゴーグルを装着し、競技終了まで装着しなければなりません。

10 アーチェリー競技試合方法について

リカーブ部門において年齢区分が撤廃となりました。

11 ボウリング競技の試合方法について

全国障害者スポーツ大会競技規則に従って「アメリカン方式」で行っています。誰がどのレーンで投げるかは、上部のモニターに表示されます。また、レーン毎に配置されている役員が、次の投球順の選手を誘導します。

- ※ 「アメリカン方式」…1人で2つのレーンを使い、1ゲーム(10フレーム)の内、1フレームずつ、右のレーンと左のレーンを交互に投げる方式。

12 卓球競技の試合球について

公益財団法人日本卓球協会の指定する公認球が「セルロイド製」から「プラスチック製」に変更されたことを受け、本大会においても15回大会から「プラスチック製」の公認球を使用しています。

- ・サウンドテーブルテニスの選手が使用するアイマスクは、各自用意することとします。
また、アイシェードの使用も可能となります。

13 車いすバスケットボールの試合方法について

女子選手のプレイ時におけるチームの持ち点合計について、コート内でプレイする女子選手が1人いる場合に、プレイヤーの持ち点合計14.0より1.5点減算されます。ただし、コート内でプレイできる女子選手は2名を限定とします。

14 競技場内への立ち入り

- (1) 原則として、選手及び競技役員以外は競技場内に入ることはできません。
- (2) スポーツへの参加を通じた社会参加の推進という本大会の目的を踏まえ、招集から競技終了に至るまで、原則として選手自身が一人で行動できるよう指導・助言いただいているところです。

しかし、障がいの種類や程度等の理由により、補助や指示がどうしても必要な選手に対する付添い又は介助のため競技場内へ入ることを希望する方は、上記内容を理解した上で、必ず招集所へ申し出て許可を得てください。陸上競技については、渡されるビブス等を付けてください。

なお、介助者は運動にふさわしい服装をしてください。(ハイヒール、サンダル等は不可)

- (3) 競技場内では競技の支障とならないように注意し、審判員、競技補助員及び大会役員の指示に従ってください。(競技中にトラックやフィールドを横切るとは大変危険であり、絶対にしないこと。)

- (4) 伴走者は、介助とは別に招集所で伴走の許可を受け、「伴走者用ビブス」を受け取ってください。介助のビブス等で伴走をすることはできません。
- (5) ビブス等は競技終了の都度、必ず受け取った「招集所」へ返却してください。
- (6) 以上を守らない場合は、選手が失格となる場合があります。

15 ゼッケン（ゲートボール、水泳及びアーチェリー競技を除く。）

- (1) ゼッケンは各保健福祉事務所及び学校に配布してある物を使用し、競技用服装の上衣の胸部及び背部に付けてください。また、各競技終了後は、保健福祉事務所及び学校の担当者が責任を持って回収してください。
- (2) 卓球のゼッケンは背部のみ、サウンドテーブルテニスのゼッケンは胸部のみとし、各保健福祉事務所等で用意するものを使用してください。
- (3) 団体競技出場チームは、チームが識別できるゼッケンやユニフォームを着用してください。

16 競技用服装等

- (1) 運動可能な服装としてください。
- (2) 陸上競技のスパイクシューズは全天候型とし、ピンの長さは9mm（走高跳、ジャベリックスロー及びソフトボール投は12mm）を超えてはいけません。
- (3) アーチェリー競技の服装は、運動靴を使用し、上衣は胸ポケットのないものとします。（Tシャツ、ポロシャツが好ましく、Yシャツ、ネクタイは不可です。）

17 携行品等

上履き運動靴等（天候により開会式を体育館で実施することがあるため）、帽子、昼食、水筒、タオル、雨具及び常用薬等については、各自で用意してください。

18 雨天時等の開催決定等

雨天決行の予定です。ただし、各競技の実施については各競技役員の長の意見を聞き、大会の主催者が決定します。

19 個人情報及び肖像権の管理

大会中の参加者の肖像権は主催者に属します。このほか、大会に参加する方にはあらかじめ以下の事項を周知し、了承の上、参加してください。

- (1) 選手の氏名、年齢区分、性別、障がい区分及び所属について、大会関係冊子及び印刷物並びに大会主催者の管理するホームページに掲載すること。
- (2) 障がい者スポーツの振興及び大会の目的推進のため有益と認められる場合、選手の氏名、年齢、性別区分、障がい区分及び所属について、報道機関に情報を提供する場合があること、また、競技中及び大会期間中に撮影された参加者の写真、映像等を主催者の判断において使用する場合があること。

20 全国障害者スポーツ大会出場選手の選考

この大会の個人競技の記録は、第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」（令和2年10月24日～10月26日）の選手選考の参考とします。（本大会開催要領6の(2)を参照）

なお、現在の全国障害者スポーツ大会の出場参加資格については、身体障がい者は身体障害者手帳の交付を受けた者、知的障がい者は療育手帳の交付を受けた者又はその取得の対象に準ずる障がいのある者、精神障がい者は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者又はその取得の対象に準ずる障がいのある者が対象となっていますが（全国障害者スポーツ大会開催基準要綱7（参加資格）の(2)を参照）、2020年度の第20回全国障害者スポーツ大会からは参加資格を「精神障害者保健福祉手帳所持者または自立支援医療（精神通院）受給者証取得者のみとする（通院証明書をを用いての証明対応は廃止する）」と変更する旨が公益財団法人日本障がい者スポーツ協会からアナウンスされております。

選手団の責任者への留意事項

1 参加者の監督、指導等

- (1) ゴミ等についてはすべて持ち帰り、後片付けは参加者全員で行うように責任をもって実施してください。
- (2) 出場選手への周知は、保健福祉事務所、市町村、関係団体等と連携して、徹底を図ってください。
- (3) バス等で来場した場合は、移動時及び帰る時には乗り残しのないよう人員点呼を確実に実施してください。
- (4) 昼食は斡旋しませんので、各自で用意してください。

2 参加者の健康管理

- (1) 当日、全選手から健康チェックシートの提出を受け、チェック項目の右欄に○のある方がいたら救護係に申し出て、競技の参加について検討を受けてください。
- (2) 雨天の際は特に、選手団の責任者が必要に応じ適切な配慮をしてください。

3 バスの運行時間

バスの運行時間は、第 19 回長野県障がい者スポーツ大会の留意事項 6 のとおり計画していますが、当日変更となる場合があります。当日のアナウンス等、変更連絡に注意願います。

4 競技

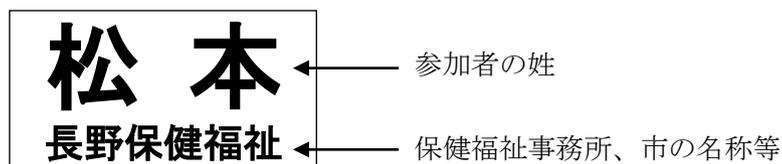
- (1) 棄権する選手がいる場合、選手団の責任者は招集完了時刻までに招集場所の担当者に選手の氏名等を申し出てください。
- (2) 陸上競技では、知的障がい者のための解散所を設けますので、選手団の責任者等は必ず迎えに来てください。
- (3) 選手の付添や介助のために競技場内へ入る場合は、必ず招集所へ申し出て許可を得てください。陸上競技及び水泳競技については、渡されるビブス等を着用してください。また、ビブス等は競技終了の都度、必ず受け取った「招集所」へ返却してください。

5 ゼッケンについて

(1) 卓球、サウンドテーブルテニスのゼッケン

卓球は背部のみ、サウンドテーブルテニスは胸部のみとし、各所属等で用意するものを使用してください。なお、大きさは原則として縦 20cm、横 24cm とし、姓と所属名等を太文字でハッキリ表示してください。

(ゼッケンの例)



(2) ゲートボールのゼッケン

ゲートボール競技は、各所属・チームで用意するものを使用してください。

6 開催の決定等

前日又は当日に、天候等により大会の開催に疑義が生じた場合は、下記まで電話により照会してください。(ただし、この番号は参加者(選手、付添人等)には周知しないでください。)**【連絡先電話番号】080-6935-4997(大会事務局携帯電話)**

7 個人情報及び肖像権の取扱い

個人情報及び肖像権の取扱いは、開催要領及び留意事項 19 のとおりです。参加者等に周知して、事後にトラブルが生じないよう配慮してください。